

企業ニュース ストライク

(東証1部 : 6196) <https://www.strike.co.jp/>

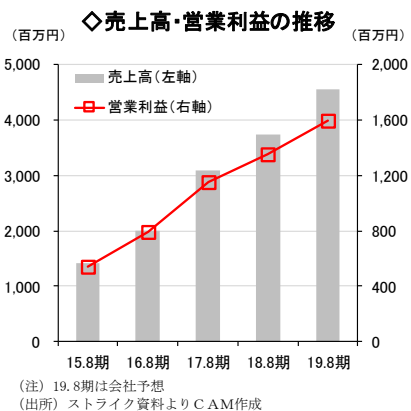
作成者: 村上大志

中小企業向けのM&A仲介事業者

1997年設立。国内の中堅、中小企業を対象にM&A仲介を行う。1998年に開設したM&Aマッチングサイト「SMART」は、譲渡や買収情報をインターネット上に掲載し、相手先企業を探索するサービス。買収側は短期間で候補先を探索可能で、譲渡側は選択肢が広がることでより良い条件で売却できるなど双方にメリットがある。また、M&Aの最新ニュースや法律等の様々な情報をワンストップで提供する無料ポータルサイト「M&A online」の運営も行う。

「2016年 後継者問題に関する企業の実態調査(帝国データバンク)」によると、後継者のいない企業は19万社超に上る。

後継者不在に悩む企業は多く、解決策としてM&Aによる事業承継への期待が高まっている。



案件の大型化が進み、高成長が続く

19.8期・第2四半期累計(9-2月)の業績は売上高が21億9,200万円、前年同期比41%増、営業利益が7億5,700万円、同54%増。人員増及び増収に伴うインセンティブの増加で売上原価、販管費ともに上昇したが、大型案件の成約や案件単価上昇による増収でカバーし増益を達成した。成約組数は44、同1組増。会社計画を下回ったが、大型案件の成約に注力したことで成約期間が長期化し、小型案件の成約件数が減少したためであり、過度な懸念は不要であろう。

19.8期の会社計画は売上高が45億4,500万円、前期比21%増、営業利益が15億9,100万円、同18%増。M&A市場は後継者不在や高齢化問題などを背景に拡大傾向にあり、事業環境は良好である。成約期間の長期化で下期にずれ込んだ案件の業績寄与が見込まれる。人員採用は計画を上回る進捗である。事業承継のM&A仲介に加え、新領域としてスタートアップ企業の出口戦略としてのM&A案件の開拓に注力する。また、「M&A online」の有料化も検討しており、事業領域の拡大に期待したい。

[株価動向・投資判断]

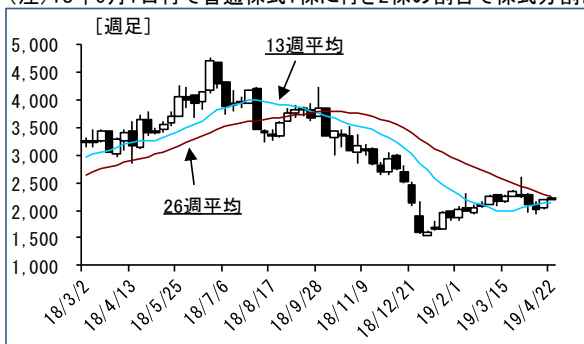
業務提携の拡充やセミナー・広報活動等を積極的に行っており、事業承継M&A市場におけるシェア拡大で持続的な成長が見込めよう。

<6196 ストライク 業績:単独>

[今期予想の配当金は発行会社予想]

	売上高	営業利益	経常利益	当期利益	1株利益	1株配当
	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	百万円 (伸び率)	円	円
17.8	3,092 (54)	1,150 (44)	1,144 (45)	803 (57)	86.8	16.00
18.8	3,743 (21)	1,352 (18)	1,355 (18)	919 (14)	47.5	9.00
19.8 予	4,545 (21)	1,591 (18)	1,591 (17)	1,066 (16)	55.8	11.00

(注) 18年6月1日付で普通株式1株に付き2株の割合で株式分割を実施。



[主要株価指標]		(売買単位 : 100株)
株価(2019/4/22)		2,193 円
年初来高値(高値日)		2,600 円(19/3/29)
同 安値(安値日)		1,532 円(19/1/4)
予想 P E R (19.8 予)		39.3 倍
1株株主資本(PBR算出用)		226.2 円
P B R		9.70 倍
予想配当利回り		0.50 %
(1株当たり配当金年11.00円)		
R O E (18.8)		22.3 %
発行済み株式数		1,935 万株